

Vol.27 ～サウジアラビアの新航空会社 Riyadh Air～

日・サウジ・ビジョンオフィス・リヤド 長澤 諒祐

サウジアラビアの新航空会社

2026年6月10日、サウジアラビアの新航空会社である「リヤドエアー」が、一般旅客向けのフライト運行を開始した。リヤドエアーは、サウジアラビアの政府系ファンドの Public Investment Fund (PIF) が 100% 保有する新航空会社であり、Vision2030 を象徴する国家プロジェクトの一つだ。2023 年に設立が発表され、リヤドをハブとして、世界 100 都市以上を結ぶ構想で、世界最大級の新設航空会社へ成長することを目指している。

また、本構想に合わせて、リヤドの国際空港、キングハーリド国際空港を大幅に拡張、再開発し、滑走路を 6 本備えた巨大空港「キングサルマン国際空港」へと発展させる開発も PIF 主導で進行中だ。

就航地と保有機材

2026 年 8 月上旬現在の就航地は、サウジアラビアのリヤド、ジェッダ、英国のロンドン、マンチェスター、UAE のドバイ、エジプトのカイロ、インドのムンバイ、スペインのマドリード、マラガ、マレーシアのクアラルンプール、バングラディッシュのダッカの計 11 都市だ。

さらに、8 月中旬から 9 月上旬にかけて、パキスタンのイスラマバード・ラホール、タイのバンコク、フィリピンのマニラにも就航予定である。

同社が現在運用している機材は、ボーイング 787-9 型の航空機 6 機であるが、今後受け取り予定の同型機に加え、ボーイング 787-10 型や、エアバス A321 neo 型、同 A350-1000 型などを合わせて、最終的には 180 機を超える機材を保有する計画だ。

機内の様子

筆者が搭乗したリヤド発ジェッダ行の機内には、ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラス、エコノミークラスが設けられていた。エコノミークラスの座席配置は 3-3-3 で、足元にも十分なスペースが確保されており、快適な座り心地であった。セーフティビデオには、

リヤドの名所が織り交ぜられるなどの工夫が見られ、旅先への期待感を高める演出となっていた。機内食のサービスも提供され、短時間のフライトながら快適に過ごすことができた。

<リヤドエアーの機体>



(日・サウジ・ビジョンオフィス撮影)

<エコノミーシートの様子>



(日・サウジ・ビジョンオフィス撮影)

<機内食の様子>



リヤドの空港の拡張計画と併せて、今後の同社の更なる運航規模の拡大が楽しみだ。(2026 年 8 月)

お問合せ先

日・サウジ・ビジョンオフィス・リヤド

Address: Riyadh, Qurtubah dist, Airport Road - Imam University Oasis

G Floor, Building Number: 3678 / Postal code: 13224

Tel: +966-11-219-9155 E-mail: info@sj-visionoffice.jetro.go.jp

Website: <https://www.jetro.go.jp/sj-visionoffice/>

本資料は、執筆者の個人的な見解であり、日・サウジ・ビジョンオフィス・リヤドの公式な見解を示すものではありません。